

### 3. 2017 年度活動概要

#### 1. JACET SLA 研究会のテーマ

1995 年の研究会発足以来のテーマ「第二言語習得研究と外国語教育への応用」で研究活動を続けています。2013 年に『第二言語習得と英語科教育法』（開拓社）を刊行した後は、その後の第二言語習得研究の最先端を学ぶため、以下の研究活動を行っています。

#### 2. 公開輪読会開催

輪読会は公開とし、講演、研究発表、実践報告も泡褪せたプログラムを組んで、年 2 回のペースで開催しています。輪読は会員が分担してそれぞれの最新の実証研究を紹介、教育への応用を示唆し、参加者である中学高校の先生方との意見交換を通して、理論と実践の融合を図ります。

##### 1) 2017 年度第 1 回公開輪読会

9 月 18 日（日）に獨協中学高等学校にて「スピーキング、ライティング」をテーマとして、講演と発表の 2 本立てで開催しました。講演には、長野県立上田高校教諭・草間千枝先生をお招きして「高校におけるライティング・スピーキング指導の困難点」についてお話し頂きました。発表部門では、会員 7 名がそれぞれ、最新の第二言語習得に関連する実証論文を読み、日本での授業実践にどう取り入れたいか等についてディスカッションしました。

##### 2) 2017 年度第 2 回公開研究会（共催：常葉大学外国語学部言語文化研究会）

2018 年 3 月 4 日（日）には常葉大学水落校舎にて、講演・実践報告・輪読・発表を併せた公開研究会を開催しました。午前の部は常葉の学生・関根由大によるフィードバックの発表、研究会会員によるスピーキングに関する輪読と協議、午後は植松茂男同志社大学教授による講演「イタリアにおける CLIL の現状と課題」、研究会会員による実践報告と輪読が行われました。

#### 3. 研究会会員の個人の研究の促進

研究会には興味を共有する人たちが集まっているので、普段から e-mail を活用して情報や意見の交換をしています。また、研究会で仲間を見つけて科研費研究にも積極的に取り組むことを促しています。